

ビブリオバトル 2019

In 富士川

第3回

2019年11月17日(日)ますほ文化ホールロビーにて、ビブリオバトルが開催されました。今年は小学生の部も含め、計10組と過去最多となるバトラーが登壇。それぞれが自身の持ち味を生かし、作品の魅力をアピールしていました。紹介される本のジャンルが広がったのも今回の特徴で、聴衆の読書の幅を広げるきっかけになったように思います。大会も第3回を迎え、多くの人々に愛されるイベントになりつつあるという手ごたえを感じました。

チャンプ本



『みんなの「わがまま」入門』

富永京子

鈴木有斗さん (20代)

「つかみの例えばなしが上手で引き付けられた」
 「読んでみたらきっと、(みんなが)自分と同じように思っていたんだなと知ることができそうですね」
 「みんなわがままですね。わがままと集まれば社会も変わる」

チャンプ本に選ばれての感想

想像していたより大勢の前で発表することになって緊張しました。
 チャンプ本に選ばれてうれしいです。



『蜂蜜と遠雷』恩田陸

舟久保太一さん(50代)

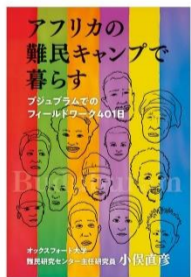
「リアルなコンクールの様子もさることながら人間性にスポットを当てるところが嬉しかったです」



『君の臍臓をたべたい』住野よる

市川陽さん/内田愛梨さん (中1)

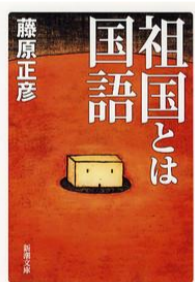
「映画と本、両方を見てみたくなりました」
 「ペア発表の可能性を感じた」



『アフリカの難民キャンプで暮らす』小俣直彦

長澤麻理さん(30代)

「難民は遠い場所の出来事と思っはいけないと思った」



『祖国とは』藤原正彦

樋口誠也さん (50代)

「とても惹かれる題名と内容で読んでみたくなりました」

もはや恒例となった増穂小学校の元校長先生古屋三千雄さんによる講評と朗読。

今回は「おてがみ『ふたりはともだち』(アーノルド・ローベル)を読んでくれました。がまくんとかえるくん、2匹のゆる〜い掛け合いにほのぼのとした心持になりました。

また、富士川町出身の作家、神永学さんの著書も紹介してくださいました。

ビブリオチャレンジ

小学生以下の子供たちが3分間で、お気に入りの一冊について紹介！

- | | |
|---------------------|------------|
| 『さかなクンの一魚一会』さかなクン | 秋山智彩さん(小4) |
| 『星の王子さま』サン・テグ=ジュベリ | 長澤歩美さん(小5) |
| 『森ねこのふしぎなたね』間瀬みか | 村田笑理さん(小3) |
| 『悪ガキ7』宗田理 | 河西翔大さん(小6) |
| 『シャーロックホームズ』コナン・ドイル | 川村奏介さん(小4) |